

## 1 目指す学校像

帝塚山学院が設立にあたり提唱した「力の教育」を実現し、意志の力、情の力、知の力、躯幹の力といった、広い意味の力の漲った強い人物を育成する。

1. 活力ある人間の育成
2. 創造性豊かな人間の育成
3. 協調性ある人間の育成
4. 国際感覚豊かな人間の育成 を目標とする。

## 2 中期的目標

### 1 教育力の強化

#### (1) 進路指導

- ① 生徒一人ひとりの進路実現
- ② 現役国公立大学合格者数の増加

#### (2) 学習指導

- ① 英語検定試験対策の実施
- ② AL型授業の導入
- ③ ICT機器の導入

#### (3) 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣の確立、安心安全な学校生活の充実を図る。
- ② 清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止
- ③ いじめの防止、携帯電話の使用方法について
- ④ 交通安全指導の強化
- ⑤ 生徒指導の強化

#### (4) 特別活動

- ① 自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実
- ② キャリア教育の充実と大学見学の実施

### 2 組織力の強化

### 3 財務基盤力の強化

#### (1) 入学生の確保

#### (2) キャンパスの整備

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析	学校協議会委員からの意見
<p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「入学者を確保するための十分な募集広報活動を、組織的に行っている」・・・93%(昨年度より3%減)</li> <li>・「教育課程は学習指導要領に沿っている」・・・92%(昨年度より9%増)</li> <li>・「年間を通じた教育計画(シラバス)を各教科別に立てて実践している」・・・89%(昨年度より5%増)</li> <li>・「学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている」・・・84%(昨年度と増減なし)</li> <li>・「同窓会、後援会とのネットワークを確立し、学校運営で必要に応じた支援をあおいでいる」・・・80%(昨年度より14%増)</li> <li>・「保護者へ授業を公開している」・・・77%(昨年度より16%減)</li> </ul> <p>上記6項目は引き続き高い評価を得られた。また、入試説明会は中高とも参加人数を制限しての実施、およびオンラインで実施した結果、90%以上の肯定率が得られた。ただ、コロナ禍のため、授業参観(4月、11月)等で授業が公開できず、評価を下げてしまう結果となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている」・・・77%(昨年度より6%増)</li> <li>・「事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている」・・・68%(昨年度より7%増)</li> <li>・「中高教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」・・・71%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想を追うのはとてもよいと思います。一方で、現状把握も重要です。生徒指導に関して、学力育成には社会性が必要で、社会人基礎力をつけなければならないという件について、社会人基礎力が伸びたという指標に何をを用いるのか。遅刻生徒の数や保護者アンケートなど色々あるが、それをみることでどのような変化があったと言えるのかどうか。伸びたと言えるのかどうか。それらをどのように捉えるのかという指標について研究が必要ではないでしょうか。</li> <li>・コロナ禍におけるオンライン授業の展開は、苦しい時期にかえってそれを強みにできたと思います。</li> <li>・2020年度は大変な1年だったと思います。そのなかで授業動画の配信などの新しい発見がありました。社会全体がそういう方向に進みました。リモートは、中高生の世代には使いやすいツールであり、タブレット端末の必携化に関しても時代を感じます。ただ、使い方には難しいところがあります。デジタル特有の問題として、人間関係への影響もあります。工夫を重ね、目標を立てて、という取り組み方も洗練されてきたと思います。</li> <li>・学校の保護者アンケートは「だいたいよい」という意見が多い。教師もそこに甘えてしまうところがありますので、NPS分析は興味深いです。</li> </ul>

**(昨年度より 26%増)**

上記 3 項目は着実に評価を上げることができている。

**【教育内容】**

「図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる」・・・83%(昨年度より 5%増)

「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」・・・80%(昨年度より 1%減)

「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」・・・78%(昨年度より 6%増)

「海外留学制度が有効に実施されている」・・・78%(昨年度より 12%減)

「人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている」・・・73%(昨年度より 10%増)

「部活動は活発に行われている」・・・73%(昨年度より 5%増)

「スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている」・・・72%(昨年度より 3%増)

海外留学制度に関しては、コロナ禍のため留学を行うことができず、12%減という結果となった。また、Zoom を利用した中学 3 年生対象の卒業生による講演会を実施した。Zoom を利用することにより、遠方の卒業生からのお話を聞くことができ、今後も実施予定である。

「ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている」・・・63%(昨年度より 10%増)

・公立中学校の場合は中学 3 年で高校受験があるので、部活動の引退、行事ができないなどの制約がありますが、6 年一貫教育の羨ましいところは、それがいいことです。学力保障等の課題があるとのことでしたが、学力以外にも 6 年一貫教育として伸びているところもあるのではと思います。

・タブレット端末は、接続不良等いろいろな問題が起こります。公立中学校ではタブレット端末を学校保管にしています。準備にかかる時間ロスが多いのが問題ですが、一度生徒に持ち帰らせると、家庭環境の差が大きく出てくることを懸念しています。

・NPS 分析は企業ではよく使う方法で、厳しい結果が出ますが、その一方で鋭い分析が可能だと思います。

・コロナで受験の仕方に変化があります。移動リスクから、地理的市場が狭くなりました。大阪南部では泉ヶ丘校への志望が増えました。ただ、進学校としての泉ヶ丘校の評価は厳しいものです。京大、阪大への進学は、中学校での学力が大事です。公立高校で伸びる生徒も、中学時代に鍛えられていることが多いです。中学校 3 年間での学力を重視すべきです。

・同じ地域に住むものとして参加することになりました。学校がいろいろな問題の解決に向けて取り組んでいる姿、1つの目標に向かって進む姿は感動的です。生徒に対しても、いつも興味を持ってもらえる取り組みを考えておられる。地域の連携、難しくなる時代。参考にさせていただいています。

「生徒に清掃、校内美化意識の向上が図られている。また、施設・設備を大切にすることを育成している」・・・62%(昨年度より18%増)

清掃、美化への指導に関して、ここ数年間で肯定率の上昇がみられる。特に、令和2年度はコロナ禍において消毒の徹底を行ったため、肯定率が大幅に上昇した。今後も、保健部と生徒会を中心に美化活動を継続予定である。

【生徒指導】

「登下校に際し、生徒指導は円滑におこなわれている」・・・93%(昨年度より18%増)

「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」・・・88%(昨年度より4%増)

「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」・・・83%(昨年度より7%増)

「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」・・・83%(昨年度より3%増)

「いじめ問題について、保護者と連携をとりながら組織的に対応できる体制がある」・・・82%(昨年度より9%増)

「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」・・・82%(昨年度と増減なし)

「不登校の生徒に対するケア体制が整っている」・・・79%(昨年度より7%増)

「ICTを利用して授業を行っている」・・・77%(昨年度より6%減)

「生徒の学習意欲を引き起こす取り組みができている」・・・76%(昨年度より9%増)

「生徒の生活指導について、学校の一貫した方針に従い、組織的に対応している」・・・75%(昨

・3年間参加しました。感じることは、当初は内部改革の話題が多かったのですが、今回は生徒に向けての前向きな話題が増えた。校長の足場が固まって次のステージに進んだことを感じました。

<p>年度より 5%増)</p> <p>生徒指導部を中心として、教員による登下校指導が行われている。また、いじめ防止アンケートも引き続き実施し、悩みを抱えている生徒へのケアを行った。2名のスクールカウンセラーによるケア体制が確立しており、不登校生徒に対しては引き続き支援を行う。</p>	
---	--

### 3 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み	評価指標	評価	課題と改善策
教育力の強化	I 進路指導 ・生徒一人ひとりの進路実現 (現役国公立大学合格者数の増加)	・通常授業のさらなる充実  ・通常補習、夏期セミナー、冬期セミナー、2次直前対策講座の充実	「様々な進路希望に対応できるよう、教育課程(選択科目など)は適切に整備されている」(保護者アンケート) 目標肯定率: 85%	【肯定率】 中 81.7% 高 83.0% (元年度は 中学 83.8% 高校 79.4%)	例年 6月と 11月の年 2回実施の授業見学週間を継続、さらに活性化させ、授業改善に取り組む。
			「学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げている」(保護者アンケート) 目標肯定率: 80%	【肯定率】 中 78.0% 高 70.9% (元年度は 中学 71.7% 高校 67.7%) 中高とも着実に評価が高まっている。	各教科で講座を決定し、進路指導部が取りまとめ、適切な講座を提供していく。
			「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」(自己評価アンケート) 目標肯定率: 85%	【肯定率】 82% (元年度 82%)	また、高校 3年生対象の夏季セミナーに関しては 5月下旬から 6月上旬には周知できるように行っていく。

			<p>「補習や講習は統合的に整備され、多様な進路希望に対応できる体制になっている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：70%</p>	<p>【肯定率】 中 64.4% 高 67.2% (元年度は 中学 64.9% 高校 61.8%)</p> <p>保護者アンケート結果は 60%台から頭打ちの傾向がみられる。</p>	
<p>2 学習指導</p> <p>・英語検定試験対策の実施</p> <p>・AL 型授業の導入</p> <p>・ICT 機器の導入</p>	<p>・オンライン英会話を積極的に導入し、聞く力・話す力の向上を目指す。</p> <p>・AL 型授業を中学校を中心に実施する。</p> <p>・映像を取り入れた授業の実施。</p>	<p>「補講など生徒の成績向上のための措置は充分になされている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：85%</p> <p>「教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：55%</p> <p>「ICT 機器を利用して授業を行っている」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>【肯定率】82% (元年度 82%) 昨年度からと増減なしの結果であった。</p> <p>【肯定率】41% (元年度 41%)</p> <p>【肯定率】77% (元年度 83%) ICT 機器の使用率は 80%前後で推移している。</p>	<p>オンライン英会話は高1、高2を中心に実施。また、英検2次試験対策として、希望生徒にオンライン英会話を実施。</p> <p>教科主任を中心に、各教科会議を利用しての情報交換を継続する。</p> <p>今後も引き続き、ICT機器の利用を促進する。</p>	
<p>3 生徒指導</p> <p>・基本的な生活習慣の確立</p>	<p>・きめ細やかな遅刻指導、マナー向上の呼びかけを実施</p>	<p>「学校は規則正しい生活習慣が身に付くように指導している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p>	<p>【肯定率】 中 91.5% 高 83.5% (元年度は 中学 84.3% 高校 76.2%)</p>	<p>昨年度、目標肯定率を 80%としており、達成することができた。今後も生徒指導部を中心に指導を行っていく。</p>	

<p>・清掃の徹底、挨拶の励行、遅刻の防止</p> <p>・安心安全な学校生活の充実を図る</p> <p>・いじめの防止、携帯電話の使用方法について</p>	<p>・生徒指導部教員を中心とした泉ヶ丘駅や校門付近でのバス乗車指導の実施</p> <p>・定期テスト間に3回以上遅刻した生徒に対し、早朝登校指導を実施</p> <p>・月1回、アドバイザーを招いての教育相談ケーススタディ会議を実施。</p> <p>助言を受けて、不登校気味の生徒のケアを行う。</p> <p>・いじめ対策アンケートの実施</p>	<p>「登下校の安全や交通マナーに関する指導が十分になされている」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p> <p>「学校は保護者の悩みや相談、問い合わせに丁寧に対応している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：85%</p> <p>「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」(自己評価アンケート)</p> <p>目標肯定率：90%</p> <p>「学校は生徒からの悩みや相談に親身になって対応している」(保護者アンケート)</p> <p>目標肯定率：80%</p>	<p>【肯定率】 中 88.1% 高 87.0% (元年度は 中学 83.8% 高校 81.4) 肯定率は年々上昇している。</p> <p>【肯定率】 中 89.8% 高 81.5% (元年度は 中学 85.5% 高校 75.8%) 中学は年々上昇している。また、高校も 80%を超える結果が得られた。</p> <p>【肯定率】88% (元年度 84%)</p> <p>【肯定率】 中 84.0% 高 76.0% (元年度は 中学 75.8% 高校 66.0%)</p>	<p>下校時のバス乗車指導も継続するが、生徒指導部を中心にバス、電車の車内でのマナー向上も図っていく。</p> <p>今年度もケーススタディ会議を実施予定。 会議では、各学年別に議題を抽出して実施し、アドバイザーによるきめ細やかな助言をもとに、生徒に対応する。</p> <p>「いごちアンケート」を早期に行い、対応していく。また、stop itを4年前から導入しており、生徒が持っている悩みを共有する。</p>
--	---	--	---	---

	<p>・いじめの防止</p>	<p>・人権道徳教育の実施</p>	<p>「アンケートを実施し、いじめに対して防止に努めている」 (自己評価アンケート) 目標肯定率：85%</p>	<p>【肯定率】83% (元年度80%)</p>	<p>「いごこちアンケート」を学年主任と各担任で共有し、問題に対して早期に解決するよう努める。</p>
	<p>4 特別活動 ・自主性のある活動の促進、学校行事・課外クラブ活動の充実</p>	<p>・生徒会活動のより一層の活性化</p> <p>・課外クラブ活動への積極的な参加の呼びかけ</p>	<p>「生徒会・自治会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」(自己評価アンケート) 目標肯定率：60%</p> <p>「部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている」(保護者アンケート)目標肯定率:80%</p> <p>「部活動は活発に行われている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：80%</p> <p>「職業体験や卒業生による講演会を実施し、キャリア教育の充実に努めている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：85%</p>	<p>【肯定率】78% (元年度72%)</p> <p>【肯定率】 中78.6% 高72.0% (元年度は 中学75.7% 高67.7%)</p> <p>【肯定率】73% (元年度68%)</p> <p>【肯定率】80% (元年度81%)</p>	<p>近年は中高とも生徒会活動が活性化している。各委員会においても委員長を中心に、今年度の目標を定め、月1回の委員会で具体的な活動内容を決めていく。</p> <p>引き続き、放課後補習は希望制とし、クラブ活動への支障がないよう実施する。</p> <p>中3生対象のZoomによる卒業生の講演会は好評であった。今年度も引き続き実施予定。</p>



組織力の強化	組織力の強化	・学年主任と中心として学年での報告連絡相談を徹底し、一貫した対応を行う	「教員はチームワークがとられており、一貫した対応が期待できる」(保護者アンケート) 目標肯定率：85%	【肯定率】 中 82.7% 高 70.9% (元年度は 中学 73.2% 高 62.7%) 中学の肯定率は80%を超えた。高校も徐々に上昇し、70%を超える結果が得られた。	3年前と比較し、中学で35.5%、高校22%上昇した。各学年団は学年主任を中心として、報告連絡相談を行い、情報共有していく。
財務基盤力の強化	入学者の確保	・オンラインでの説明会を実施	「入学者を確保するための十分な募集広報活動を組織的に行っている」(自己評価アンケート) 目標肯定率：95%	【肯定率】93% (元年度96%) 例年と同様90%以上という高い割合を保っている。	今年度もオンラインの学校説明会、体験入学、オープンキャンパスを実施することも多くなることが予想される。
	キャンパスの整備	・エアコンの取替工事 ・体育館の修繕	「施設・設備は、よく整備されている」(保護者アンケート) 目標肯定率：90%	【肯定率】 中 85.4% 高 82.4% (元年度は 中学 82.1% 高 82.7%)	コロナウイルス対策として、エアコンに高機能付きのフィルターを設置した。また、各クラスに引き続きアルコールを設置するとともに、体温計を配付することとする。

※ 自己評価アンケート、保護者による学校評価アンケートは 1：達成できている 2：ほぼ達成できている 3：あまり達成できていない 4：まったく達成できていない の4段階に分けて回答。肯定率とは、全ての回答における1と2の回答の割合のこと。

肯定率 [%] = (1と2の回答数 / 全回答数) × 100 で計算した。